

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙 : 5件 (ただし、匿名等で回答していない市長への手紙は除く。)  
 うち回答済みの件数 : 5件  
 うち回答作成中の件数 : 0件  
 ○対象とならなかった市長への手紙 : 14件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

■回答したもの (受付年月 令和元年11月分)

対応状況凡例 : ○=手紙の内容に応じて対応済  
 △=手紙の内容を検討中  
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	リニアへの川勝知事の対応にガッカリ	<p>リニア新幹線への私の疑問。この巨大大事業は、最初はJR東海の単独事業でした。が、国が参加しました。ということは、税金を投入している。名古屋や東京からは、この開通に大きな期待があることを盛んに宣伝しています。大都会の人達だけメリットがあり、大都会の人達は、地方の人達がこの事業によるデメリットは、意に介さないでしょう。(こういうことも腹が立ちます)</p> <p>過去日本が、高度経済成長を進めてきて、大きな公害(水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそく)を起こした時代を思い起こします。大きな経済利益がでるから、一地方が困ろう(大井川の水量が減少することによる農家、醸造メーカー等)がおかまいなし。</p> <p>そんななかで、川勝知事は、この件では、困るという人達によりそい、JR東海への批判を続けてきました。が、突然、国に解決の斡旋をしたなんて、困るという人達への裏切りです。巨大大事業を進める一翼を担当している国が、JR東海に「リニアは困るという人達」に彼らの意見を聞いて善処しなさい、できないなら事業中止と言うハズはないです。善処についても、県の担当者とJR東海が話し合ってきて、善処の落としどころが見えません。</p> <p>これ以上の解決策がないから国に預けたが、国が良い対策を出せるとは思いません。</p> <p>残るのは、島田市の態度です。リニアは困るという人達の側にたち、県、国、JR東海に立ちは</p>	<p>最初にお伝えしたいのは、私はリニア中央新幹線の建設工事に反対してはいません。リニア中央新幹線は日本の発展に大いに資する国を挙げてのインフラ整備であると認識しています。</p> <p>また、知事は私達大井川流域住民のために、他のリニア沿線県知事などの批判を受けながらも大井川の水を守る態度を取り続けて来ています。御心配されている国・県・JR東海による新たな協議の場についても、国土交通省鉄道局だけでは公平な判断ができないのではないかと懸念し、国土交通省の河川担当部局や環境省を交えた協議にすべきだと主張しています。</p> <p>11月6日、国土交通省鉄道局江口大臣官房技術審議官が当市など地元4市を訪れてくださり、各市長と面談いたしました。私は、審議官から「事業認可時に国土交通大臣からJR東海に対して、水資源の影響をはじめ地元住民に丁寧な説明をし、理解を得ることを指示している。」との言葉を聞き、国が本気で仲介役に名乗り出てくれたと期待を感じたところです。私からも、流量減少などに対する市民の不安が大変大きいこと、公平な判断をして欲しいことを伝えました。</p> <p>今日の島田市の発展は、大井川を礎としています。大井川を源とするその恵は、農林業・工業・観光業の成長に加え、ここにしかない歴史・文化の創造に大きく寄与してきました。当市にとって大井川の水は、まさに「命の水」であります。</p> <p>その「命の水」を守ることに妥協は許されませ</p>	○	戦略推進課 36-7120

			<p>だかってもらいたい。島田市民の為です。</p>	<p>ん。流域住民が安心できる丁寧な説明と、工事着工前の協定書締結は最低限必要であります。</p> <p>これからも、静岡県、周辺市町、利水者の皆様とともに「オール静岡」の態勢で JR東海と対話を進めてまいります。御理解、御支援をお願いいたします。</p>		
2	メール	コミュニティバスの本数について	<p>私は通学の際に島田駅を利用しています。</p> <p>ですが、家から少し遠く、近くにコミュニティバスのバス停があるので利用してみようと思いましたが、全くいい時間のバスがありません。朝乗る電車は7時58分なのですが、バスは7時5分です。本数が少なく不便なので、せめて30分に1本は出て欲しいです。また島田駅から家方面に行くバスも少ないので、通勤ラッシュと帰宅ラッシュは本数を増やして欲しいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>はじめに、コミュニティバスの運行は、多くの皆様に御利用いただけるよう、時刻の設定や車両の配置をしています。</p> <p>島田市においては、現在14路線のコミュニティバスを運行していますが、通勤時間帯においては、バスを利用したい時間が利用者によって様々でありますので、全ての皆様の要望を実現することは大変困難な状況です。</p> <p>現在、市におきましては、利用者のニーズに応じて乗合運送を行なうデマンドタクシーの運行や、自治会やNPOなど地域の皆様との協働により、ワゴン車等による自主運行を行なうなど、様々なニーズに対応する交通網の構築について検討を進めているところです。</p> <p>以上の点を何とぞ御理解いただき、今後も公共交通の運営に御協力いただきますようお願いいたします。</p>	×	生活安心課 36-7144
3	メール	島田市の行政業務適正化に向けたしくみの再点検を	<p>第2回島田市個人情報保護審議会で、市が報告した届け出内容に疑問を感じました。</p> <p>本審議会の役割は、「個人情報保護制度の適正、円滑な運営を推進するため、個人情報の収集の制限、目的外利用や外部提供などの取り扱いについて審議を行う」とされており、個人情報保護の観点から行政の事業推進に重要なものとなっています。</p> <p>今回の報告では本来届け出、または変更がなされなければならないものが、各担当課で包括業務委託に際し、見直しをしたことで未届けが見つかり、改めて届け出報告が行われたものが散見されました。(過去においては、事後報告となったものもありました。)</p> <p>今回、島田市個人情報保護審議会に関係した処理行為が軽視されるような事態は、この件だけでなく、島田市の事業推進にあたり、様々なしくみや業務のあり方についても危惧されます。</p>	<p>個人情報を取り扱う事務につきましては、島田市個人情報保護条例に沿った運用を適切に行うことが原則であり、事務の開始時または変更時の届出は必須であります。</p> <p>今回の〇〇様からの御指摘につきましては、今後職員への指導機会を増やし、常に個人情報保護の意識を持たせることや職員へ事務指導する立場である所属長への啓発を行うことなどにより改善していきたいと考えております。</p> <p>さらに、個人情報保護に関する業務に留まることなく、業務全般の適正化につきましても、内部統制の仕組のあり方について検討していきたいと考えております。</p>	△	行政総務課 36-7235

			今後、行政業務がルールに則って適正に行われるように、しくみを再点検するよう希望します。			
4	手紙	子ども医療費について	<p>愛知県〇〇市から転入しました。〇〇市は子供医療費が無料でした。安心して子育てしやすいまちでした。</p> <p>今日島田市へ転入しました。医療費が1回500円でした。正直高いなあと思いました。</p> <p>我が家には子供が2人います。子供は宝です。是非子育てしやすいまちづくりをしてほしいです。</p>	<p>子ども医療費は、18歳までの子どもを対象に、入院費については無料（食事療養等の保険外費用は自己負担）としておりますが、通院費については、未就学児は月2回まで1回500円、小学生から18歳までの子どもは月4回まで1回500円を自己負担としております。これは、軽度の症状でも病院を受診する「安易な受診（通院）」を避けるという目的もあります。</p> <p>子ども医療費の助成は、内容変更や対象年齢の拡大をしながら現在に至っており、近年では、平成30年4月から小中学生の入院費を無料とし、10月から対象年齢を「中学生まで」から「18歳まで」に拡大しました。</p> <p>島田市では、子ども医療費の助成以外にも、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中及び出産間もないお母さんが安心して子育てができるように、育児経験のある保育士が無料で家庭を訪問して相談・育児援助を行う「育児サポーターの派遣」</li> <li>・子育てに関する情報の発信やサービスの紹介、相談、仲間との出会いなど、個々に応じて対応をする「子育てコンシェルジュ」</li> <li>・島田市へ引っ越してきた方を対象に、島田市の情報やママ友を作る場を提供する「ウェルカム島田」</li> </ul> <p>などにより、子育て世帯の経済的・精神的負担が軽減されるよう支援を行っております。</p> <p>子ども医療費については一部自己負担がありますが、子育て世帯への様々な支援を行い、「子育てしやすいまちづくり」を進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	×	子育て応援課 36-7159
5	メール	第三子以降の子育てについて	<p>以前、市長がなにか要望等あれば、市長への手紙へ送ってもらえれば全部目を通してのことだったので、こちらへ送らせていただいております。</p> <p>この度、幼児教育無償化に伴い、3歳児以上の保育料が無償化となりましたが、別途副食費を直接各園に払うようになりました。</p> <p>それにともない、今まで第三子で無償だったものが、副食費を払わなくてはいけなくなったた</p>	<p>国の「幼児教育・保育の無償化」が令和元年10月から開始されました。3歳児以上の児童にかかる保育料等が無償化されたものですが、これまで保育所及び認定こども園の保育園部（以下、「保育所等」と言います。）の保育料に含まれていた「副食費（おかず代やおやつ代）」が、3歳児以上について保育料から除かれ、保護者にお支払いいただくこととなりました。この考え方は、保育所等では保育料に副食費が含まれていたのに対し、幼稚園及び認定</p>	×	保育支援課 36-7195

			<p>め、約月五千円も出費がかさむようになってしまいました。</p> <p>島田市として第三子以降の保育料無償化をしているので、国と市とではちがうのはわかるのですが、第三子なのに逆に払うお金が増えてしまっているのは、市としてのその部分の補助がないものなのかと思っています。</p> <p>また、第三子以降の保育料無償化は 2021 年度までで継続の有無は検証の上判断とのことですが、ぜひ継続していただきたいです。</p> <p>今、結婚しなかったり、子どもを産まない、3人目は無理…という人たちがかなり増えていきます。ほしくてもできにくい現状もあると思います。</p> <p>でも、将来の納税者を増やすためにも、生める人が生むしかないと思います。</p> <p>そうでないと今の 30、40、50 代は老後、とても生活ができなくなります。</p> <p>私は第 4 子を望んでいますが、どうしてもお金の面で躊躇しています。産科も島田市はひとつしかありません。個人病院ですと出産費用も実費でかなりかかります。</p> <p>ぜひ、第三子以降の補助をなにかしらお考えいただきたいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>こども園の幼稚園部では保育料に含まれず、保護者にお支払いいただいていたことから、通っている施設によって負担の範囲が異なるのは不公平となるため、統一するというものです。</p> <p>この基本的な考え方を受け、島田市としても、様々なケースを検討してきました。</p> <p>その結果、家庭で子育てしている世帯が無償化の恩恵を受けることができなくなることも考慮したうえで、国の方針に沿った形で、公平性を重視し、これまでの不公平な状況を解消するべきと判断いたしました。</p> <p>これまで副食費も含めた保育料が 0 円だったところから、副食費相当分の実費の支払いが増えた皆様には大変心苦しいところではありますが、何卒ご理解をいただければと存じます。</p>		
--	--	--	---	--	--	--